

〈校訓〉 明るく つよく のびのびと

学校教育目標

小学部から中学部・高等部までの各発達段階や生活年齢、ニーズに応じた個別目標の達成を図りながら 自分の力を出し切って、
 力づくよく生きる子ども・人間を育てる。

自ら成長し、共に学び、みんなが幸せになる学校へ！

学校運営方針

- 1 服務規律の徹底を図るとともに、業務改善に取り組む。
- 2 主体性や集団参加、人とかかわりを高め、深める生活単元学習を実施する。
- 3 ICT機器を活用した授業研究を行い、個別最適な学びの実現を図る。
- 4 社会生活や働く生活への適応力を高めるキャリア教育の充実を図る。
- 5 いじめ・不登校の未然防止に向けた教育活動を行う。
- 6 交流及び共同学習を積極的に展開する。
- 7 教員同士が学び合う校内研修を推進する。
- 8 安全・安心な学校環境及び危機管理体制の整備・点検・充実を図る。
- 9 専門アドバイザーが中心となって、吾妻地域の特別支援教育のセンター的機能を果たす。
- 10 開かれた学校づくりを推進する。



あがちゃん



とっくん

令和7年度重点努力目標

- 1 「自分で考え、自分で決めて、自分で動き出す！」児童生徒の育成
 ～自ら成長する力（エージェンシー）を育み、ウェルビーイングを高める～
 的確な実態把握に基づき、特性に応じた学習環境を整備し、「個別最適な学び」「協動的な学び」を充実させることで、児童生徒自身の「もっとやりたい」という気持ちを引き出し、自ら成長する力（エージェンシー）を育む。また、学びを通じて自己肯定感を高め、児童生徒一人一人のウェルビーイングの向上を目指す。
- 2 共生社会に向けた交流及び共同学習の推進
 学校間交流や居住地校交流、地域や関係機関との交流を推進し、多様な人々と共に学び合う経験を積むことで、児童生徒が社会の一員としての役割を自覚し、主体的に行動できる力を育成する。
- 3 働き方改革の推進 ～教職員のウェルビーイングの向上を目指して～
 教職員の心身の健康の保持増進に努めるとともに、ICT化・DX化を活用した業務改善や業務内容の平準化、多忙化解消を推進し、働きやすい職場環境を整える。また、教職員のウェルビーイングを意識した働き方を推進し、安心して教育活動に取り組める環境を構築する。
- 4 広報活動の活性化
 児童生徒の教育活動の様子や成果を保護者・地域に積極的に発信し、学校と地域のつながりを強化することで、共生社会の実現に向けた理解と協力を深める。

目指す学校像 （信頼され魅力ある学校づくり）

- 愛情と笑顔あふれる安全で安心できる学校
- 地域の方が応援したくなる元気な学校
- 子共も教職員も安心して力が発揮できる学校

目指す児童生徒像

- 「自分で考え、自分で決めて、自分で動き出す！」児童生徒
- 心身ともに健康で明るく、楽しく豊かな生活ができる児童生徒
- 友達と協力ができ、望ましい人間関係をつくることのできる児童生徒

目指す教職員像

- 笑顔で接し、子どもに自信をもたせる教師。
- ICTを活用した教材開発や授業改善に、地道に努力を重ねる教師
- 探究心をもち、学び続ける教師。
- 保護者、地域から信頼される教職員
- チームワークや協働を大切にし、学校教育目標の実現に貢献する教職員
- 自己の健康管理に努め、服務に厳正な教職員

事務局

- 生活環境や学習環境の整備推進
- 教育資源のコーディネートと活用推進
- 地域と共にある学校づくり推進

小学部

- 人のかかわりを高める生活単元学習の実施
- 学校や家庭での役割を知り、みんなと協力する意欲を高めるキャリア教育の充実
- よいと思うことを進んで行う心を育てる道徳教育の実施
- 居住地校交流、中之条小学校、中之条幼稚園との交流、たんぼぼクラブとの地域交流の推進
- 教員同士が授業を見合い、話し合う場の設定

中学部

- 主体性を高める生活単元学習の実施
- 働くことの意味を知り、自分の役割を果たそうとする意欲を高めるキャリア教育の実施
- 相手のことを思いやる心を育てる道徳教育の実施
- 居住地校交流、中之条中学校との学校間交流、花の会、たんぼぼクラブとの地域交流の推進
- 教員同士が授業を見合い、話し合う場の設定

高等部

- 集団参加の力を高める生活単元学習の実施
- 将来について具体的な目標をたて、その実現に向けて取り組む意欲を育てるキャリア教育の充実
- 相手の心情や考えを尊重し、思考、判断する力を身につける道徳教育の実施
- 吾妻中央高校との学校間交流、地域資源を活用した交流活動の推進
- 教員同士が授業を見合い、話し合う場の設定